

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

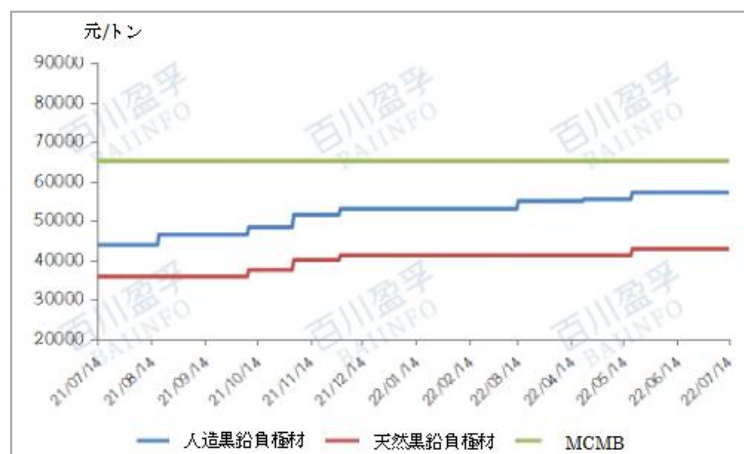
TEL : 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

中国負極材の市場動向

新エネルギー自動車業界の景気回復に伴い、中国のリチウム電池用負極材市場は需要が増えて高値で推移している。

7月14日現在、ハイエンド負極材の価格は約7.1~7.6万元/トン（144.1~154.2万円/トン、1元=20.29円で換算）、ミドルレンジは5.4~6.2万元/トン（109.6~125.8万円/トン）、ローエンドは3.8~4.2万元/トン（77.1~85.2万円/トン）である。

図1に2021年7月~2022年7月のリチウム電池用負極材の価格推移を示す。



出典：百川盈孚

図1 リチウム電池用負極材の価格推移（2021年7月~2022年7月）

中国負極材メーカーの多くはフル稼働で生産しているが、依然としてミドルレンジとハイエンド負極材、特に人造黒鉛の供給は不足している。主要負極材メーカーは下流市場の需要を満たすため相次いで生産拡大している。負極材産業はエネルギー多消費型産業として生産工場の建設に時間がかかり、短期的には需給逼迫が続く見通しである。

負極材市場の主要製品は天然黒鉛と人造黒鉛があり、特に人造黒鉛が幅広く使用されている。黒鉛化工程は人造黒鉛製造の重要プロセスで価格上昇が続いた。生産拡大や新規工場の稼働開始に伴い、黒鉛化価格はやや低くなった。

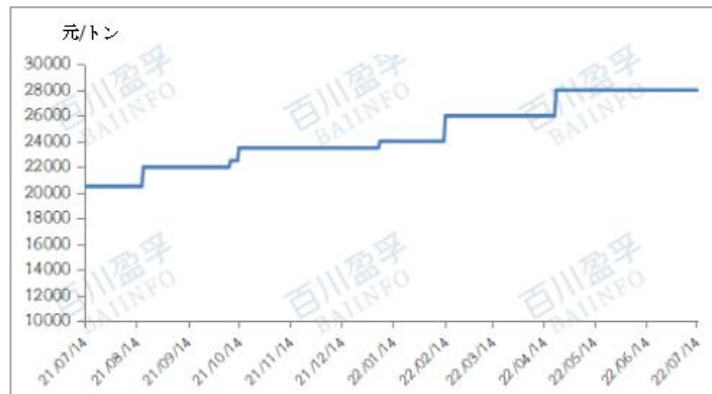
7月14日時点の黒鉛化価格は2.4~3.0万元/トン（48.7~60.9万円/トン）で、前月より0.2~0.3万元/トン（4.1~6.1万円/トン）値下がりした。一部地域では2.2万元/トン（44.6万円/トン）を下回っている。

図2に2021年7月~2022年7月のリチウム電池用負極材の黒鉛化価格推移を示す。

CMI 株式会社

横浜市鶴見区東寺尾中台20~3,301

TEL : 045~717~8575 FAX: 045~717~8683

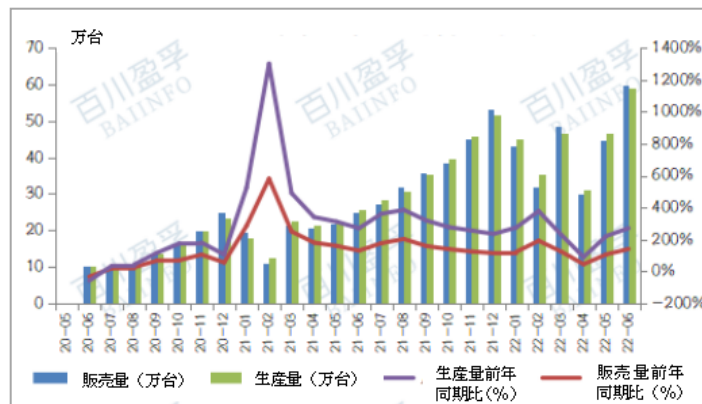


出典：百川盈孚

図2 リチウム電池用負極材黒鉛化工程の価格推移（2021年7月～2022年7月）

需要面では、新エネルギー自動車業界は国の一連の発展計画の発表に伴って大きな発展を遂げ、リチウム電池用負極材需要も急速に増えている。2022年も引き続き負極材の市場需要は増加傾向を維持する見通しである。

中国自動車工業協会のデータによると、1～6月の新エネルギー自動車生産量は266.1万台で、前年同期より1.2倍増加した。販売量は260万台で、市場占有率が21.6%になった。



出典：百川盈孚

図3 新エネルギー自動車生産量と販売量（2020年6月～2022年6月）

1～6月の動力電池生産量は206.4 GWhで、前年同期より176.4%増加した。そのうち、三元リチウムイオン電池は82.9 GWhで、総生産量の40.2%を占めている。リン酸鉄リチウム電池は123.2 GWhで、総生産量の6割になった。1～6月の動力電池販売量は205.4 GWhで、前年同期比253.2%増となった。

黒鉛化工程の生産能力不足が続いているため、主要負極材企業は設備稼働率100%で生産を行っているが、下流産業の需要増加を受け、負極材の需給逼迫が続き、価格は上昇傾向にあると見込まれている。

情報源：石墨盟より整理、作成。